



発行

山口県教職員団体連合会
代表者 山本 純
編集人 小坂 朝之
山口市大手町教育会館内
電話 (083) 922-2049番
FAX (083) 921-0907番

E-mail:
yamaguchi@kenkyouren.jp
ホームページ
http://www.kenkyouren.jp



令和に輝く 県教連の再盛

県教連の未来のために 1分会1加入



山口県教職員団体連合会
第32代委員長 山本 純

会員の皆様の信任を得まして、昨年度に引き続き山口県教職員団体連合会委員長を仰せつかった山本 純です。

約一年前の県教連情報第657号で会員の皆様に「単組や分会において、積極的に役を引き受け、その立場でしか見られない景色を見ていただきたい」とお願いをしました。一年を振り返ってみていかがですか。役を引き受けようという事は、確かに大変な面もあると思います。しかし、誰かがやらなければならぬのも事実です。誰かにやってもらうより、自分でやった方がカッコいいと思いませんか。やって損をすることはないと、実感しています。再度同じことを言わせてください。会員の皆様にもそれぞれの単組や分会において、積極的に役を引き受け、その立場でしか見られない景色を見ていただきたいと思います。是非！

さて、昨年度の交渉は、県教連の歴史の中でも異例と言える交渉となりました。県人事委員会の勧告内容があまりにも理解し難いものであったため、勧告後に関係団体とともに4度(計8時間弱)に亘る交渉を行いました。しかし、県人事委員会から我々が理解できる回答や根拠等が示されることはなく、当局である県教育委員会との交渉を再開せざるを得ないという状況となりました。結果的に、この4月から給料表が引き下げられるという事態になってしまい、悔しさや腹立たしさとともに、会員の

皆様に対し、本当に申し訳ないという思いでいっぱいです。会員の皆様には忙しい中、また、短い期間しかなかったにも関わらず多くの方に署名に御協力いただき本当に感謝しています。ありがとうございました。

交渉を進めていく中で、やはり「数は力」であることを痛感しました。山口県には教職員団体が複数ありますが、それら全ての加入者を合計しても山口県の教職員全体の約3割程度です。約7割の教職員が未加入という事です。今後、山口県における教職員の教職員団体への加入率を上げていくことが非常に重要となります。子供と向き合う時間を確保するために、そして、我々教職員が誇りをもって仕事ができるようになるためには、教職員団体への加入率を上げる必要があるのです。いや、上げなければならぬのです。数ある教職員団体の中でも県教連は絶対に必要な教職員団体だと私は自信をもって言えます。その県教連の存在感と発言力をより高めるために、そして、学校における働き方改革を強力に推進し、子供たちと向き合う時間を確保するために、会員数を増やしていかなければなりません。県教連の会員数が増えるということは、山口県における教職員の教職員団体への加入率が上がるということになります。

そこで、今年度も組織拡大に大きく比重をおき、会員の皆様とともに全力で取り組むたいと思います。是非、皆様のお力を貸してください。山口県の教育を支えそして変えていくのは、他の誰でもない今この「県教連情報」を読んでいるあなたなのです。繰り返しますが、一緒に県教連を再び盛り上げていきましょう。

単組の頑張り感謝!!

平成30年度より、単組における組織拡大・強化に向けた取組に対する支援と意識高揚を目的として、「組織拡大・強化に向けた単組の取組に対する表彰」を行うことになりました。新規会員加入率の部、及び新規会員獲得数の部の2部門を設け、平成30年度における各部門の最高位の単組を第1回評議員会で表彰し、奨励金をお渡しました。おめでとうございます

- ☆新規会員加入率の部
田布施町教職員団体
- ☆新規会員獲得数の部
山口市教職員団体



浅原県教育長との懇談

5月8日(水)、浅原 司教育長と山本委員長が教育長室において懇談しました。昭和から平成へ時代が移った時、高校生だった委員長と高校の教師だった教育長の思い出話から和やかに懇談は始まりました。

懇談の中心となったのは、県が進める「学校における働き方改革加速化プラン」でした。教員の時間外業務時間を30%削減する目標について、現場では個々の仕事量や業務時間にどうしても差が生まれるため、平均値だけでは測れない、個々の現状に目を向けるプランとなるよう依頼しました。学校業務支援員の増員については評価しつつ、支援員が必要なのは、大規模学校だけでなく、小規模学校にも必要であることに言及しました。学校規模の違いによる校務分掌等の負担感については、教育長も現場経験から理解を示していただきました。今後も、中教審の委員となった村岡知事と連携して、教職員の増員を国に働き掛けていただきたいと思います。懇談を終えました。

